

# 令和 3 年度事業報告書 – デイサービスセンターあじさい園 –

**テーマ**：自然災害や感染症対策により、入所者・利用者の安心・安全な望む暮らしの支援と  
地域住民と支え合う仕組みづくりを目指す

**サブテーマ**：利用者・家族にとって必要なサービスの安定した提供

## 1. より安心・安全なサービスの提供を図る

- ①県内に感染症拡大警報が発令されるたびに、ご利用者およびご家族にお知らせを配布し法人感染委員会での決定事項や、感染予防のお願い、あじさい園での取り組みなどを発信した。（年間 8 回以上）その成果もあり、ご家族や本人に県外の往来がある時にはスムーズに連絡を取り合い、利用控えのお願いし感染予防を図る事ができた。
- ②新型コロナウイルスへの対応について、デイサービスのマニュアル改訂に合わせて追記し、ご利用者や職員に濃厚接触者が出るたびにマニュアルに沿って対応を行った。白楽荘でクラスターが発生した際には、デイサービスも保健センターに指示を仰ぎ、職員の PCR 検査等を実施し、必要に応じて休園した。その際、ご家族や関係事業所に丁寧な説明を行い、不信感につながらないように対応した。また、令和 2 年度に引き続き、令和 3 年度もデイサービスでは職員も利用者もコロナウイルス陽性者は発生せず、感染予防に努める事ができた。
- ③昨年度は大雪に見舞われることはなく、休業ともならなかったが、災害に備えて、法人防災委員会とともに BCP 作成を進めた。災害も、これまでの地震や火災、土砂災害にとどまらず、感染症についても想定、机上訓練を行い、BCP 作成を進めることができた。

## 2. 効果的な人材育成に取り組む

- ①利用者への担当制を生かし、職員と利用者との関係構築を図ったが、感染予防対策によりコミュニケーションの時間を、これまでのようには十分には取れなかった。しかし、送迎時や連絡帳にてご家族とコミュニケーションを図り、在宅ケアと合わせたより良いケアにつなげることができた。

- ②WEB 研修は認知症実践者研修や防災関連研修、感染対策研修、LIFE に関する研修、全国老施協研究大会などに積極的に参加し、職員の資質向上やサービスの質の向上を図った。
- ③年 3 回（5 月・11 月・3 月）職員面談を実施、また、新入職員は入職後必要に応じて面談し、人材育成や離職防止を図る事ができた。新入職員や異動職員については、1 か月後など早めに面談を行い本人の不安を解消することができた。

### 3. 令和 3 年度の介護報酬改定に合わせた適切なサービスの提供

- ①介護報酬改定に伴い、通所介護計画書は初回相談員が作成することで、内容を適正化する事ができた。2 回目以降は担当職員が、内容を把握して行ったので、効果的なケアと的確なモニタリングが行えた。
- ②新型コロナウイルス感染拡大により、家族内感染などから、デイサービスの利用控えが慢性的に発生し、一般型デイサービスの定員を 35 名から 30 名に変更した。それに伴い、過剰人員を不足部署に異動した。また、算定可能な加算を取得するため、LIFE の提出を積極的に行った。科学的介護推進体制加算・入浴加算・個別機能訓練加算の取得を年度内に開始し、資質向上につなげることができた。
- ③入浴加算や機能訓練加算が変更されたことにより、入浴時には自立支援をより意識したサービス提供を行い、3 か月ごとに見直した。